

家庭科

【令和7年度第66回全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座

体験講座報告

令和7年7月24～25日 独立行政法人 国立オリンピック記念青少年総合センター】

全国高等学校家庭クラブ指導者養成講座は、文部科学省・全国高等学校家庭クラブ連盟・一般財団法人家庭クラブが主催する研修の機会です。家庭クラブ員並びに顧問教師を対象として毎年夏に1泊2日で実施されています。内容は、講義・分科会・活動報告や交流会、そして「体験講座」が組み込まれています。

「体験講座」は、過去5年間では右表の内容で実施されています。今年は青森県津軽地方の「こぎん刺し」でした。日本の三大刺し子と呼ばれています。青森県南部の「菱刺し(ひしざし)」、山形県の「庄内刺し子(しょうないさしこ)」とともに日本の伝統的な刺し子の技法として今に伝わります。

令和6年度	ユニット折り紙
令和5年度	タティングレース
令和4年度	美しい立ち居振る舞い～拝礼と袱紗
令和3年度	折る・包む・結ぶ 日本の伝統「折形」
令和2年度	コロナ禍により中止



左は実習で制作したくるみボタン(りんご)とヘアゴム(猫の肉球)です。

りんごの図案配色は、はじめ「赤がいいな～」と子どものようにつぶやきながら刺していましたが、完成してみると自作のAラインブラウスの同色リボンの色とぴったり！自然カラーが想像以上のセット感でした。(配色って想像を超えて楽しい!!)写真右の「猫の肉球」は、お見本を見よう見まねで頑張ってみました。(猫好きの私としては最高にうれしい!)

実習後は展示の品を拝見し、羽織らせていただきました(下写真)。ずっしり重い羽織ものです。歴史を感じる風合い、愛情を注いで繕いながら着続けられている、よく見ると図案のちょっとしたずれのようなものはあることなど、講師の植木友子さんから伺いました。手仕事ならではの物語がとても魅力的でした。(講師名 HP 紹介についてご本人のご了承いただいております)

さて、都立六本木高校では必修修科目「家庭基礎」の被服実習で刺し子のふきんを制作しています。できあがった作品は文化祭(きらら祭)の展示発表を目指しています。各学校でも伝達講習など実施されるかと思いますが、刺し子の美しさや創作の楽しさに触れ、暮らしを豊かにする技術の習得に生かしていきましょう!(次は何に刺し子をしましょうか? 楽しみ!)

